

高等学校 教科書選定理由（科目名 現代の国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	現国	703	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1 学年	教科 国語科・科目 現代の国語
------	--------	-----------------

3. 教科書選定理由

「現代の国語」の教材の軸になるのは，評論文と実用的な文章である。各社とも現代社会で論点となっているテーマについて論じた評論文を教材化している。また，探究活動も各社工夫して取り入れている。これらの点で，各社とも優れた教科書であった。

八社の現代の国語の教科書を比較・検討した結果，本校国語科が選んだのは，東京書籍の『現代の国語』である。東京書籍の『現代の国語』を選んだ理由は大きく三点あげられる。

一つ目の理由として，読解編と探究編に分けて作られている点があげられる。読解重視の授業と，表現活動重視の授業とをわけることによって，目標や活動内容を明確にした授業を行うことができる。なすべきことや，どのような力をつければいいのか不明確なまま授業をする，受けるという状況を防ぐことができる。この点は他社の教科書と比べた場合，長所である。新学習指導要領では「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動が「読むこと」の活動と同等に充実することが求められている。そのために適切な構成になっていると言える。

二つ目の理由として，評論読解に必要な重要語の説明がなされていることである。評論文読解では，主観，抽象や身体などの評論文重要語の理解が欠かせない。これらは日常使わない，あるいは日常使われる意味とは異なる意味で使われている。そのため，評論文読解では，重要語の理解が必要になる。特に本校の生徒は高2，高3と難度の高い評論文を読むことになるので，高1段階では重要語の基礎的な理解を行いたい。そのため，説明のある教科書が適切である。

三つ目の理由として，テーマに基づいた教材編成があげられる。言葉，メディア，科学など現代社会の論点となるテーマによって，教材文を集めている。テーマに関する複数の教材文を読むことで対象認識を深めることが可能である。また授業において比べ読みをすることでテーマに対する様々な視点を持つことが期待できる。

以上の点より，東京書籍の『現代の国語』を選定した。

高等学校 教科書選定資料（科目名 言語文化）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
117	明治	言文	711	
				精選 言語文化

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1 学年	教科 国語科・科目 言語文化
------	--------	----------------

3. 教科書選定理由

「言語文化」の教材の軸になるのは、文学的文章と古典である。各社とも、従来も大切にされていた文学作品や古典作品、いわゆる安定教材、定番教材を教材としている。たとえば、文学的文章として、全社「羅生門」をとりあげている。古文では説話文学、「伊勢物語」「枕草子」「徒然草」や「平家物語」の一節など、漢文では故事成語、「十八史略」「唐詩」や「論語」の一節など、従来と同様のものを教材化している。また、教材文の読解と併せて探究活動を行う点で、各社とも大きな違いはない。

八社の言語文化の教科書を比較・検討した結果、本校国語科が選んだのは、明治書院の『精選言語文化』である。

明治書院の『精選 言語文化』を選定した大きな理由として、近現代文編と詩歌編の充実があげられる。近現代文編は、本校生徒に読ませたい作者・作品が選ばれており、教材数も多い。また、古典と現代文の橋渡しである明治期の文語文と口語文がとりあげられている。さらに、詩歌を独立してとりあげている。一語一語の選択、それが作り上げる作品世界を想像させることのできる詩歌学習は、本校国語科として力を入れていることでもあり、詩歌に力を入れている点は大きな長所である。現代文の教材は、定番のものと新しいものがバランス良く配されていると言える。

また、近現代文編と詩歌編に加え、古文編、漢文編も教材数が多い。とりあげられている教材は定番のものが多く、古典の導入期に必要な基礎的事項を学ぶに適した教科書であるといえる。教材数が豊富なため、本校の授業スピードに応えることができる。この点も長所である。

以上の点より、明治書院の『精選 言語文化』を選定した。

高等学校 教科書選定理由（科目名 論理国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	論国	703	
				精選 論理国語

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	教科 国語科・科目 論理国語
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校では，高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで，2学年では「論理国語」を履修する。「論理国語」は論理的思考，批判的思考，創造的思考の育成を重視する科目である。また，言語活動として読むことと書くことを重視している。教材文は評論文が中心となる。各教科書会社とも，これまで評価の高かった評論文，大学入試で頻出する筆者の評論文を教材文としている。また，現代社会で論点となっている「言語」，「メディア」，「グローバル社会」などを単元構成の柱とする教科書が多い。読む活動と書く活動も適切に設けられている。

八社の教科書を検討した結果，本校国語科が「論理国語」の教科書として選んだのは，三省堂の『精選 論理国語』である。また，最後まで候補として残っていたのは，筑摩書房の『論理国語』と大修館書店の『論理国語』である。

筑摩書房の『論理国語』は教材文が充実している。また単元「変貌する時代，変貌する人間」を高く評価する意見があった。一方，評論文のキーワードの説明や背景の説明が若干弱いように感じられた。大修館書店の『論理国語』は教材文の充実とともに，評論文のキーワードの説明や背景の説明なども手厚い。「広がる読書」欄がもう少し手厚ければと惜しく思われた。

三省堂の『精選 論理国語』を選んだ理由として，本校生徒の学習に応えることのできる教材の量と質があげられる。たとえば，単元「【『情報社会』を生きるI】」はコラムも含め四つの評論文からなっている。いずれも本校生徒に読ませたい筆者の文章である。これらの教材文を読むことで，「情報社会」について認識を広げると共に，各教材の比較読みや批判読みを行うなど，思考力を育成する学習活動を展開することができる。資料編では，「メディア・情報」など，現代社会の論点となっている分野に関するキーワードや背景が説明されている。各単元の教材文に加えて，資料編の説明を読むことで，本校生徒が学習するのに十分な教材の量を確保できる。

また，「読書の扉」欄が充実している点もあげられる。「読書の扉」で紹介されている本を各生徒が読むことで，授業から発展して，現代社会についてより課題意識を深めることができる。

以上の理由により，三省堂の『精選 論理国語』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（科目名 古典探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	古探	717	高等学校 古典探究 古文編
			718	高等学校 古典探究 漢文編

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	教科 国語科・科目 古典探究
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校では，高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで，2学年では「古典探究」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「古典探究」は，古典を読むことで，先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高めることや，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることを重視する科目である。さらに，生涯にわたって古典に親しむことで，自己を向上させる態度の育成も目標としている。各教科書会社とも，これまで評価の高かった古典作品，いわゆる定番教材，安定教材を教材文として多くとりあげていた。

八社の教科書を検討した結果，本校国語科が「古典探究」の教科書として選んだのは，第一学習社の『高等学校 古典探究 古文編』と『高等学校 古典探究 漢文編』である。また，最後まで候補として残っていたのは，明治書院の『精選 古典探究 古文編』と『精選 古典探究 漢文編』である。

本校は「言語文化」の教科書として明治書院の教科書を採用しており，明治書院の『精選 古典探究』は接続という点で適切である。また，載せられている絵の色は美しく，生徒を惹きつけるだろうと思われる。一方で「後編」の「源氏物語」がもう少し充実していればと思われた。

第一学習社の『精選 古典探究』を選んだ理由として，古文編では「源氏物語」が充実している点があげられる。高校古文の教材として「源氏物語」は最も難しいものと言える。読むためには，総合的な読む力が求められる。そのため，読む力を育成するのに資する。また，「源氏物語」は人間の複雑な心情を描く。人物同士の様々な思いのぶつかり合い，そのぶつかり合いの中で悩む人物が描かれており，人間理解を深めることができる。高校3年生でも「古典探究」を履修するため，読み応えのある「源氏物語」の文章が充実していることは，評価される。漢文編では単元「史記の群像」が評価される。高校漢文としてはいずれも長い教材文である。そのため，分量を読み，漢文に読み慣れることができる。また，「源氏物語」同様，「史記」は苦境を生きる人間，悩む人間を描いている。読む中で，人間理解を深めることができる。

以上の理由により，今年度は第一学習社の『高等学校 古典探究』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（科目名 文学国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	文国	702	

精選 文学国語

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	教科 国語科・科目 文学国語
------	------	----------------

3. 教科書選定理由

本校では，高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで，2学年では「論理国語」を履修する。3学年では「論理国語」の履修を基本としつつ，文系の生徒が「文学国語」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「文学国語」は，文学的な文章を読むことを通して，想像する力と創造的思考力を育成し，人間，社会，自然に対するものの見方を豊かにすることを重視している。また，読書の意義と効用について理解を深めることをめざしている。教材文は文学的な文章が中心となる。各教科書会社とも，これまで評価の高かった文学教材をとりあげている。

八社の教科書を検討した結果，本校国語科が「文学国語」の教科書として選んだのは，三省堂の『精選 文学国語』である。

各社とも定番教材をとりあげている点で大きな違いはない。本校の2・3学年の国語授業で取り扱ってきた「山月記」，「こころ」，「舞姫」は各社ともとりあげている。三省堂の『精選 文学国語』はこの定番教材に加え，定番教材以外の教材文が高く評価された。具体的には，村上春樹「夜中の汽笛について，あるいは物語の効用について」，多和田洋子「捨てない女」，蜂飼耳「詩はいつでも近いところにある」である。また，文学を対象化して考察している「評論」の文章が高く評価された。阿部公彦「小説はどう読めばいいのか」は，文学作品の一つの読み方を提示する書き下ろし教材であり，ぜひ読ませたい教材である。本教科書は，文学作品を中心に，文学を対象化する文章，そして読書の効用を考えさせる文章がバランスよく配置されている。

コラム「文学を読むために」と「広がる読書」も評価された。文学作品を分析するための文学の批評用語を「文学を読むために」として載せている。文学作品を読むために批評用語は必要ないが，感想を書く，あるいは特徴について話しあうためには必要となる。本校生徒に学ばせたい点である。また，「広がる読書」に載せられている本は，高校生の興味関心をひくもの，抵抗なく手を伸ばせるものが載せられている。「読書の扉」の本とあわせて，本校生徒に読んでもらいたい本が載せられている。

以上の理由から，今年度は三省堂の『精選 文学国語』を採択するに至った。

高等学校教科書採択理由書（地理総合）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 高等学校 新地理総合
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地総	703	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第2学年	種目 地理総合
------	------	------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に鑑み、以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

地理総合の目標に沿った内容の選択、構成が行われており、「地理探究」に向けて発展的に学ぶための基礎となる知識・技能も十分に取り上げられている。

- ・第1部では、地図・GISの技能について、特設ページを活用し、実践を交えながら段階的に習得できるよう工夫が施されている。
- ・第2部では、国際理解と国際協力について、世界諸地域を「自然」「社会」「経済」「開発」など様々な視点に分けて学習を構成し、追究事例で学びを深めることが可能で、かつ学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。
- ・第3部では、学習事項の確認や、主体的に探究学習を行う特設ページなどの工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を幅広く扱い、問題解決を思考する機会を設けることができる。

高等学校 教科書採択理由書（地理探究）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 新詳地理探究
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地探	702	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第3学年	種目 地理歴史・地理探究
------	------	-----------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等に鑑み、以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

1. 帝国書院「新詳地理探究」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	国土認識を高め、社会の形成に関与できるように内容が構成されている。発展的な内容を扱うトピックやコラム、地理的技能に習熟するページが数多く設けられており、日本や世界の一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が充実している。
学習との関連	地形と気候に関する知識や資料が充実しており、地殻変動や大気の大循環などを地球レベルで、そのメカニズムを理解しやすい内容構成になっている。系統地理的分野においては重要な統計資料、およびそれに基づく主題図が数多く適切に配置されており、生徒が統計資料や主題図に基づき論理的に思考・判断する機会を持つことができる。また、地誌分野では、その国や地域に関する年表が示されているため、地域の形成や変容を理解しやすくなっている。
他教材との関連	教科書の本文、索引、主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結びついており、また、索引、脚注、用語解説欄が適切に施されており、生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても優れた効果を発揮すると思われる。

高等学校 教科書採択理由書（地図）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 新詳高等学校地図
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地図	702	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第2・3学年	種目 地理歴史・地理総合，地理探究
------	--------	----------------------

3. 教科書採択の理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適当と判断し採択する。

帝国書院「新詳高等地図」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	世界諸地域を多用な視点から深く学習するための内容構成となっている。世界諸地域の地域区分には新たな地域区分が加わり一層多様になり，都市の市街地図も充実したものとなっている。それにより，ローカル，ナショナル，グローバルなど，様々な空間や社会のスケールを意識して現代の世界諸地域の学習を行うことが可能になっている。
学習との関連	主題図がとくに地理学の成果を活用した重要な地図が多く，地理Bの学習に十分な内容がそろい，深い学習が可能である。また地理Bの教科書とも関連付けが十分になされており，高校Ⅲ年からの地理Bの学習において効果を発揮すると考える。
他教材との関連	同社の教科書と有機的に結びついており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

上記の考察を踏まえ，採択教科書との関連において，本書の採択を判断した。

高等学校 教科書選定理由（歴史総合）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
81	山川	歴総	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	地理歴史・歴史総合
------	------	-----------

3. 教科書選定理由

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）を，本校の教育目標・教育課程，生徒の実態を踏まえ，来年度使用教科書に選定した。

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）が，他の教科書と比較して優れている点は，次の通りである。

1. 各テーマが4ページまたは6ページから構成されており，本文が適切な文章量で簡潔にまとめられている。
2. 本文の随所に，日本と世界が相互に関連していることを意識できるような記述がみられる。
3. 導入からまとめまでの流れが分かりやすくレイアウトされ，スムーズに授業を展開できるよう工夫されている。
4. 写真・絵画・ポスター・風刺画など直観的に読みとけるバリエーション豊かな資料が多く掲載されている。
5. 内容理解を促す資料として，文字資料・グラフ・新聞記事なども準備されている。
6. 充実した地図や，日本と世界を比較できる年表もテーマごとに多数掲載されている。
7. テーマの目標となる大きな問いから各資料に付した小さな問いまで，様々な学習活動に沿った問いが設定されている。
8. 問いが，適宜選択しグループで取り組んだり，生徒同士で意見交換することを想定しており，主体的・対話的で深い学びが目指されている。
9. 温暖化や天然資源の資料等が掲載されており，地理総合とのスムーズな連携が意識されている。
10. 学習指導要領にある観点(「開発・保全」「対立・強調」「自由・制限」等)から，過去の人々が課題に対してどのような取り組みをおこなったかを資料を読みときながら振り返り，現代の諸課題について自ら課題を設定して考えるような工夫がみられる。

高等学校 教科書選定理由（日本史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	日探	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・日本史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「日本史探究」（実教出版）を，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等を鑑み，来年度使用教科書に選定した。

「日本史探究」（実教出版）が，他の教科書と比較して優れている点は，次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する，冒頭の問いが明確である。また，巻頭で「問い」や「仮説」の作り方を解説しており，主体的な学びを推進する工夫がなされている。
2. 詳細な記述と側注について，歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料・文字資料・地図が600点以上掲載されており，資料が豊富である。
4. 各単元の最後に，本文で学んだことを活用して考察し，表現するまとめの問いが掲載されている。
5. 「日本と世界の結びつき」や「日本の様々な地域」に注目することで，多面的・多角的な考察に到達できるよう工夫がなされている。
6. 歴史的思考を深めていく工夫が見られるとともに，グループワークにも対応できるようになっている。

高等学校 教科書選定理由（世界史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	世探	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・世界史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「世界史探究」（実教出版）を，本校の教育目標・教育課程，生徒の実態を踏まえ，来年度使用教科書に選定した。

「世界史探究」（実教出版）が，他の教科書と比較して優れている点は，次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する，冒頭の問いが明確である。
2. 詳細な記述と注について，歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料が500枚以上掲載されており，資料が豊富である。
4. 地域別のインデックスが付加されており，地域ごとの歴史をつなげて通史的に学ぶことができる。
5. 重要な世界史用語が丁寧に解説されている。
6. 各単元の最後に，本文で学んだことを活用して考察し，表現するまとめの問いが掲載されている。
7. 段階的に考察を深めるような工夫が見られ，グループワークにも対応できるようになっている。
8. 通史を学んだあとに同時代史の視点から知識を整理できるようにテーマが設定されている。
9. 近年注目されているグローバルヒストリーの視点での記述がみられる。
10. 比較，結びつき，社会，ジェンダー，世界と日本，世界と現在という6つの視点から世界史を読み解く工夫が見られる。

高等学校 教科書選定理由（公共）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	公共	711	高等学校 新公共

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	公民・公共
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 学習指導要領の新科目の理念を反映した構成になっていること。
- ② 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
- ③ 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
- ④ 課題を探究する活動や議論の中で生徒が主体的に活用して知識を獲得し問題を整理するのに適していること。

- ・ 公共のねらいを意識したテーマ学習を想定した構成になっていること。
- ・ 内容項目や概念ごとに短いまとまりを積み重ねる構成になっており，テーマ学習での主体的な活用がしやすい。記述も平易で生徒の主体的な活用に向いている。
- ・ 情報量としてはより多い他社もあるが，旧来の「現代社会」の構成を維持しており「公共」固有の狙いの達成には不向きなものであること。
- ・ 他社に比べ視覚的に整理された関心を高めるレイアウトになっていること。

高等学校 教科書選定理由（政治・経済）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	政経	701	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	公民・政治・経済
------	------	----------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
 - ② 資料の選択，グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
 - ③ 発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施，教育実習，進学指導等をふまえ，新課程における探究科目としての政治・経済の教科書として，本校で生徒に求める予復習・自学自習での活用にも適していること。
- ・ 情報量が過不足無く十分であるとともに説明が平易で，生徒自身による自学自習にも効果的である。
 - ・ 情報量としてはより多い他社もあるが，未整理で自学では使いにくく探究形式では特定の課題に従って用いる想定書き方になっているのに対して，説明が比較的平易で生徒が自分で読んで理解をすすめる予復習をすることが可能な表現になっているため，本校授業で目指す一歩踏み込んだ内容の授業を行う場合に生徒に求めたい自学による予復習にも適した教科書である。
 - ・ 他社に比べ用語解説が同ページに収められグラフ等も配置されているなど，視覚的に整理されたレイアウトになっている。
 - ・ 判型が大きすぎず小さすぎない。

高等学校 教科書採択理由書（倫理）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 倫理
番号	略称	記号	番号	
2	東書	倫理	701	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第3学年	公民・倫理
------	------	-------

3. 教科書採択の理由

本校の教育目標・教育課程，以下の評価規準等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

判断基準項目

- ① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
 - ② 抽象的事項を説明するのに，正確さと分かりやすさという条件を，適切に満たしていること。
 - ③ 発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施，教育実習，進学指導等をふまえ，新課程における探究科目としての倫理の教科書として，本校で生徒に求める予復習・自学自習での活用にも適していること。
- ・ 情報量が過不足無く十分であるとともに説明が平易で，生徒自身による自学自習にも効果的である。
 - ・ 情報量や原典資料の掲載量としてはより多い他社もあるが，抽象的事項であるため資料集や原典資料等との併用を想定した場合には教科書は理解しやすい表現であることが望ましく，自学の際にも使いやすいため，本校授業で目指す発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施，教育実習，進学指導等に適した教科書である。
 - ・ 他社に比べ判型がやや大きくゆとりがあり用語解説や図版が同ページに収められ視覚的に整理されたレイアウトになっている。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅰ	712	数学Ⅰ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	数学・数学Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第1章. 数と式」「第2章. 集合と命題」「第3章. 2次関数」「第4章. 図形と計量」「第5章. データの分析」の5つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学 A）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
1 0 4	数研	数 A	7 1 2	数学 A

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1 学年	数学・数学 A
------	--------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第 1 章. 場合の数と確率」「第 2 章. 図形の性質」「第 3 章. 数学と人間の活動」の 3 つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅱ	709	数学Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 式と証明」「2. 複素数と方程式」「3. 図形と方程式」「4. 三角関数」「5. 指数関数と対数関数」「6. 微分法と積分法」の6つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学B）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数B	710	数学B

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学B
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 数列」「2. 統計的な推測」「3. 数学と社会生活」の3つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学・数学Ⅲ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅲ	708	数学Ⅲ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	数学・数学Ⅲ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 関数」「2. 極限」「3. 微分法」「4. 微分法の応用」「5. 積分法」「6. 積分法の応用」の6つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである

高等学校 教科書選定理由（数学・数学C）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数C	708	数学C

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	数学・数学C
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 平面上のベクトル」「2. 空間のベクトル」「3. 複素数平面」「4. 式と曲線」「5. 数学的な表現の工夫」の5つの章で構成されており，以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ，学習指導要領の範囲外の内容について，必要なものが必要な場所に扱われており，より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は，数学に対する理解が深まり，応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が，省略せずにきちんと記述しており，論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる，理由を説明するなど，本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで，生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており，数学をより深く調べたいときの利用や，表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり，項目始めに学習内容の概要を掲載するなど，生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では，日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また，字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い，またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため，多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように，本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており，問題の分量や配列，順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである

高等学校 教科書選定理由（物理基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	物基	709	

高等学校 物理基礎

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標、教育課程、生徒実態等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

運動とエネルギー、熱、波動、電気の4章から構成されている。各章とも、図や写真、グラフやデータが過不足なく取り入れられており、本文の内容が理解しやすい。要所に「特講」としてまとめがあり、生徒が活用しやすい。また、日常生活における身近な物理現象の話題も適宜取り上げており、物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。演習問題については、例題では生徒が間違いやすい点が、分かりやすく説明されており、章末問題では大学入試にもよく出題されるような内容も取り上げられている。類題の解答が二次元コードを読み込むことで確認でき、生徒の理解度に応じて自主的、自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験、探究活動が充実している

各項目のはじめが問いかけからはじまり、探究の過程を重視した構成になっている。また実験については、「ぽけっとラボ」、「実験」、「探究」の3段階に分け、法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されている。また、難易度が適切であり、生徒の観察・実験の技能、また思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「物理」の学習と接続できる

科目「物理」への接続を意識し、物理基礎の学習内容をさらに深化させる事項や科目「物理」で学習する内容を「発展」として丁寧に取り上げており、生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。

④ B5変型判により紙面が見やすい

紙面が広いため圧迫感がなく、生徒が利用しやすいレイアウトになっている。各項目が左ページから始まるように構成されており使いやすい。

高等学校 教科書選定理由（物理）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	物理	709	高等学校 物理

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

運動とエネルギー、波動、電気と磁気、原子の4章から構成されている。各章とも、図や写真、グラフやデータが過不足なく取り入れられており、本文の内容が理解しやすい。要所に「特講」としてまとめがあり、生徒が活用しやすい。また、日常生活における身近な物理現象の話題も適宜取り上げており、物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。演習問題については、例題では生徒が間違いやすい点が、分かりやすく説明されており、章末問題では大学入試にもよく出題されるような内容も取り上げられている。類題の解答が二次元コードを読み込むことで確認でき、生徒の理解度に応じて自主的、自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験、探究活動が充実している

各項目のはじめが問いかけからはじまり、探究の過程を重視した構成になっている。また実験については、「ぽけっとラボ」、「実験」、「探究」の3段階に分け、法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されている。また、難易度が適切であり、生徒の観察・実験の技能、また思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実している

「Topic」や「Plus」、「発展」で発展的な内容を取り扱っており、生徒の知的好奇心を高めたり、理解を深めたりすることができる構成となっている。

④ B5 変型判により紙面が見やすい

紙面が広いので圧迫感がなく、生徒が利用しやすいレイアウトになっている。各項目が左ページから始まるように構成されており使いやすい。

高等学校 教科書選定理由（化学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化基	711	

高等学校 化学基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	理科・化学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる。

化学と人間生活，物質の構成，物質の変化，化学が拓く世界の4つの章から構成されている。各章とも，図やデータが多く取り入れられており，本文の内容が理解しやすい。化学が拓く世界では，食品や日用品などの写真を多用し日常生活における身近な化学の話題を取り上げることによって，生徒が化学と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。また，演習問題については，反復的に学習することで計算力をつけるための「ドリル」があるほか，大学入試によく出題されるような内容が「例題」として詳しく解説され，さらに発展的内容に関する問題も掲載されており，生徒の理解度に応じて自主的，自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験が充実している。

本文記述内容を理解または経験させるための観察・実験が十分な量で適宜配置されており，実験操作などの記述も分かりやすい構成となっている。また，実験テーマの設定数，難易度が適切であり，生徒の観察・実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており，科目「化学」の学習と接続できる

科目「化学」への接続を意識し，化学基礎の学習内容をさらに深化させる事項を取り上げているほか，科目「化学」で学習する内容も多く取り上げており，生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。

④ 英語表記が充実している。

本文中に英語による専門用語が記されている。課題研究を行う際に先行研究を読んだり，英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（化学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化学	708	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2・3学年	理科・化学
------	--------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

物質の状態，物質の変化と平衡，無機物質，有機化合物，高分子化合物の5つの化学的内容を扱う章と，化学の築く未来という発展的，教科横断的なテーマを扱う終章から構成されている。

各章とも，図やデータが多く取り入れられ，豊富な内容がわかりやすく整理され，記載されている。ページの下部には脚注の欄が設けられ，本文中で扱った内容について，化学的な説明が付加されたり，身のまわりの事象や既習内容と関連付けた具体的な説明がなされたりするなど，概念や定義の定着を図る工夫がなされているとともに，深い理解を促す囲み記事や日常生活と関連の深い記事なども十分に盛り込まれており，生徒が予習，復習に活用しやすい紙面構成となっている。

② 観察・実験が充実している

本文の記述内容に関連した観察・実験が適切に配置されており，理解および実感を深化させる工夫がみられる。実験操作に関する記述も丁寧で分かりやすく，学習の進行に伴って探究的内容に触れたり，学習そのものが探究的内容を内包するような構成となっており，生徒の実態に応じて観察・実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。これは授業において日常的に観察・実験や探究活動を行う本校化学の授業実態に合致する。

③ 発展的な学習内容が充実しており，高次の学び，理解への橋渡しができる

“Plus α ” “発展” の項目が多く設けられており，「酵素と活性化エネルギー」，「不斉合成」，「ベンゼンの構造と安定性」など，大学入試だけでなく，その先の研究や現代の化学的トピックをも見据えた発展的内容も充実しており，ほとんどの生徒が大学に進学し，学習を続ける本校生徒の実態にあっている。

④ 英語表記が充実している

重要語句は太字で示されると同時に，英語による専門用語が記されている。発展課題や探究的な課題に取り組む際に，国内だけでなく海外の論文や試料を検索するために有用であると同時に，英語を用いた課題への解答や文章の要約を作成するときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（生物基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生基	710	

高等学校 生物基礎

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

高等学校	第1学年	理科・生物基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は「生物の特徴」、「ヒトのからだの調節」、「生物の多様性と生態系」の流れで構成されている。各章で理解すべき学習内容や学習のつながりが極めて明確である。また、生物と生物現象に関して、共通性と多様性という視点からとらえ、ミクロレベルからマクロレベルまで幅広い領域を理解できるよう構成されている。

本文では図表や写真と文章をバランス良く組み合わせ、ストーリー性をもった学習事項の解説が行われている。また、一部の実験や図では、学習内容を補足する動画を携帯端末やパソコンで視聴できるようになっており、興味・関心をもたせ、学習意欲を高める工夫がなされている。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成となっている

巻頭に、「探究的な学習の進め方」が示されており、科学的な探究の過程や、各過程において主に必要とされる能力を理解した上で、学習が進められるような構成になっている。普段の学習から探究的に進めることができるよう、本文と融合して「資料を用いた学習」「観察」「実験」「調査」が設けられており、理科の見方・考え方を働かせながら主体的に学習を進め、実験観察の技能、科学的な思考力・判断力・表現力を養うことが可能となっている。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「生物」の学習と接続できる

最新の科学研究の内容に基づいた発展的な学習内容が多く記載されており、学習内容の理解をより深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。また、科目「生物」の接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（生物）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生物	705	

高等学校 生物

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

高等学校	第2学年	理科・生物
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は生物の進化と系統、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答、生態と環境の流れで構成されており、進化の視点を重視しながら、ミクロレベルからマクロレベルまでの幅広い領域について体系立てて理解できるよう配慮されている。また、生物基礎に引き続き、生物や生命現象には共通性と多様性がみられること、非生物的要因と生物的要因が関連していることに着目しながら学習が進められるよう構成されている。本文では理解しやすい図表と分かりやすい文章をバランス良く組み合わせ、ストーリー性をもって丁寧な解説を行うとともに、電子顕微鏡画像や動・植物の画像などの実物の鮮明な写真を多く掲載し、生命現象のイメージを適切にもつことができる。また、重要事項を図表で「整理」としてまとめており、生命現象の見方・考え方を習得させる上で有効である。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成が充実している

巻頭に「探究的な学習の進め方」を設け、科学的な探究の過程や、各過程で主に必要とされる能力を理解してから学習が進められるよう配慮されている。また、普段の学習も探究的に進めることができるよう、「資料」「観察」「実験」「調査」が設けられている。「観察」や「実験」では、材料の入手しやすさを含め、基本的な探究活動に適しているものが多く設定されており、観察実験の技能、科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「生物基礎」の学習と接続できる

発展的な学習内容が適宜導入されており、学習内容の理解を深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。また、科目「生物基礎」との接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

脚注に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英文による要約を作成したりするときの参考になることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（地学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地基	703	

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。 ① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である 空間認識を主とした内容、時間認識を主とした内容、地球環境と人間生活・社会の関わりの内容の順で構成され、巻末に地学と職業の関わりを紹介している。理科の見方・考え方を働かせながら、地球システム概念の育成に適した構成になっている。本文は、自然事象の科学的な理解を促す丁寧な記述とともに、学習の視点や学習活動が随所に配置され、生徒の思考に沿って探究的な学習が可能な記述になっている。写真・図は大変鮮明なことに加え、デジタルコンテンツが適切に設定されており、個別最適化を図りながら理解を深める工夫がされている。 ② 探究の過程を通じて科学的に探究する資質・能力を育成できる 探究の進め方が示されており、科学的な探究の過程や各過程において必要とされる能力を理解した上で、学習を進めることができる。特に、議論という過程を設け、研究を深めて次の研究に誘う活動が設定されている。観察実験等は、授業で実施可能な数が適切に設定されていることに加え、「探究実習」、「実習」、「やってみよう」の3種類が用意されており、身に付けさせたい資質・能力の重点のちがいに对应させて効率的・効果的に実施することが可能である。 ③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「地学」の学習と接続できる 発展的な学習内容が多いことに加え、各学習内容（分野）に偏りなく記載されており、理解をより深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。また、野外観察や地質図作成のスキルが記載されており、本校における課題研究の遂行に必要な内容である。さらに、科目「地学」の接続を意識した内容が多い。 ④ 専門用語の一部が英語で表記されている 本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。
--

高等学校 教科書選定理由（地学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地学	701	

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

巻頭に地学を学ぶ意義、地学を学ぶ視点が簡潔に示されており、地球惑星システム科学を学ぶアウトラインを理解することができる。各節の冒頭には「学びの視点」が随所に配置され、学びの見通しをもつことができる。本文は「地学基礎」との関連を図りながら論理的かつ丁寧に記述されており、無理なく地球システム概念を形成することができる。写真・図は鮮明なことに加え、デジタルコンテンツが適切に設定されており、個別最適化を図りながら理解を深める工夫がされている。また、図、写真、データなどが豊富に用意され、図には解説文または「図を check!」を設けて、図の読解を通じた理解が可能である。また、部末の部末問題は、入試問題レベルが想定されており、本校生徒の実態に適している。

② 野外調査を含む探究活動等が充実しており科学的に探究する資質・能力を育成できる

生徒にとって取り組みやすいテーマの探究活動や観察実験、実習が多く設定されている。また、探究活動の流れも明確で、理科の見方・考え方を働かせて科学的に探究する能力を育成する配慮がなされている。特に、野外調査については、紙面上で野外調査のシミュレーションが体験でき、課題研究において野外調査を行う事前学習として大いに参考にすることができる。

③ 学習内容を深める記述や資料が豊富である

他教科や理科の他科目と関連するトピック、地域資料や日常生活と関連するトピックを多く盛り込み、地学の事物・現象を身近に実感しながらもそれらを科学的に捉え、自然観の涵養につながる工夫がなされている。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書採択理由書（保健体育）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	保体	702	

新高等保健体育

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第1・2学年	保健体育
------	--------	------

3. 教科書採択の理由

①学習指導要領に示された内容が、バランスよく配当されている。
・生徒の実生活に関連の深い内容であり、自ら健康について考え、判断する力を身につけられる構成となっている。

・「身体活動・運動と健康」「食事と健康」「休養・睡眠と健康」とそれぞれ項目立てされ、より詳しく学習できるようになっている。

・「性感染症・エイズとその予防」ではH I V感染を含めた性感染症について簡潔によくまとめられており、性に関わる内容についての学習に役立つ。

・体育編ではスポーツを文化としてとらえ、さまざまな観点から深く掘り下げて考えることができる内容になっている。また、スポーツを科学的に分析し健康の保持増進に役立て、生涯スポーツについて自らの問題として考えることができる内容になっている。

②学習内容の理解を深めるための工夫が多くなされている。

・各項目に「調べてみよう」「考えてみよう」と題して、学習を深化させる実践課題が提示されており、主体的・対話的で深い学びへ導くことが可能になっている。

・「ADVANCE」「コラム」と題して、生徒の視野を広げ、学習の深化をさらに図ることができるよう発展的学習内容や新しい健康問題、今日的话题が示されている。

・図表やイラスト教材が豊富で、写真やグラフも最新のデータになっており、高校生の知的好奇心を刺激する内容になっているため学習内容の理解に効果的である。

・「心肺蘇生法」実習がA E Dの使用を含めた内容になっており、「付録」でA E Dの使い方や救急車の呼び方について具体的に詳しく説明されている。

・「がんの予防と回復」や「精神疾患と特徴」「精神疾患への対応」など今日の私たちの生活を取りまく健康課題がタイムリーにとりあげられている。

以上の点を含め、総合的に判断して採択した。

高等学校 教科書選定理由（芸術（音楽Ⅰ））

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ） 音楽Ⅰ TUTTI+
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音Ⅰ	701	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第Ⅰ学年	芸術・音楽
------	------	-------

3. 教科書選定理由

- ・表紙は親しみやすい活動風景の実写で、思わず開きたくなる魅力がある。
- ・参考資料が充実しており、表現活動・鑑賞それぞれに使いやすく工夫されている。
- ・歌/アンサンブル/知識/創作などカテゴライズされた教材の配列であり、授業で扱いやすい。
- ・これまで教育出版社さんの教科書を採択していたため、扱い慣れている。
- ・日本の伝統音楽と世界の民族音楽についての資料がふんだんに盛り込まれており、参考資料も写真が多く視覚的にもイメージし易いように工夫されており、とてもまとまっている。
- ・各教材から、関連した項目への関連性がわかりやすく配列されている。
- ・古今東西の名曲解説が充実しており、鑑賞にも結び付けやすい。鑑賞に絞って考えてみても、高校生に相応しく一歩深く音楽に踏み込んだ切り口が感じられ、高水準の授業が実践できる。
- ・西洋音楽史が比較的わかり易くまとまっており、音楽系進路希望者のための学習にも活用しやすい。
- ・西洋音楽にとどまらず、日本やアジア、ワールドワイドな視点を育むという拘りが感じられる教科書である。

以上のような様々な利点から、芸術Ⅰ音楽について本教科書を採択したいと考えている。

高等学校 教科書選定理由（芸術（音楽））

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ） ON 2！
番号	略称	記号	番号	
89	友社	音Ⅱ	704	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第Ⅱ学年	芸術・音楽
------	------	-------

3. 教科書選定理由

- ・表紙は親しみやすい風景のイラストで、思わず開きたくなる魅力がある。
- ・参考資料が充実しており、表現活動・鑑賞それぞれに使いやすく工夫されている。
- ・歌/アンサンブル/知識/創作などカテゴライズされた教材の配列であり、授業で扱いやすい。
- ・芸術Ⅰまでたまたま教育出版社さんの教科書を採択していたため、ちょっとした変化や視点の違いが新鮮である。
- ・日本の伝統音楽と世界の民族音楽についての資料がふんだんに盛り込まれており、参考資料も写真が多くとてもまとまっている。
- ・各教材から、関連した項目へのリンクが大変わかりやすく設定されている。
- ・古今東西の名曲解説が充実しており、鑑賞にも結び付けやすい。
- ・西洋音楽史が比較的わかり易くまとまっており音楽系進路希望者のための学習にも活用しやすい。

以上のような様々な利点から、芸術Ⅱ音楽について本教科書を採択したいと考えている。

高等学校 教科書選定理由（芸術・美術Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美Ⅰ	702	

高校生の美術Ⅰ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1・2 学年	芸術・美術
------	----------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を選定した。

① 題材・技法・美術史の関連が理解しやすい。

掲載されてる作品や項目の多くに「リンクマーク」として関連ページが示されている。このシステムは現行本でも使われており，相互に行き来ができ，情報収集がしやすく全体像の把握を容易にするものである。このシステムを活用することにより，この教科書だけで対象項目の理解を深めることができ，発展的な探究活動の姿勢を育むことになり，アクティブラーニングが期待できる。

② 各題材ごとに学習のねらいが三つの観点で示されている。

学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて，全題材で学びの目標が三つの観点で示されている。生徒が学習の目的を明確に理解できるような構成になっている。

③ 我が国の伝統文化が多角的な視点で扱われている。

絵巻，屏風絵，浮世絵，和の空間，仏像などが，多角的な視点から複数掲載されており，我が国の伝統文化への理解が深まる工夫がされている。

④ 生徒作品が豊富である。

表現に関する各題材でいくつかの生徒作品例が掲示されており，生徒が身近に感じられる工夫がなされている。

⑤ 資料ページも簡潔にまとめられている。

技法や色彩など簡潔にまとめられており充実している。錯視関係のページにはフィルムシートが使われており，従来の印刷物では理解できなかった錯視の不思議さを理解しやすい。

美術史の分量も格段に多く，各年代の美術史について，関連する作品と解説が並列してまとめられている。

芸術科 高等学校教科書採択理由書（芸術・美術Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美Ⅱ	702	高校生の美術 2

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	芸術・美術Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を選定した。

① 生徒の身近にあるものをテーマにした作品や漫画，絵本，アニメーション，トリックアートなどが親しみやすく取り上げられている。

絵画では様々な表現技法に触れ，主題の探求についても具体例が示されており表現や鑑賞を深めるヒントが充実している。彫刻では人物・動物・抽象的な形態など，偏りが無い題材が取り上げられているだけでなく，彫刻を考える上で，建物と一体となっているものや環境造形としてのインスタレーションなど，幅広く取り上げている。デザインでは，スマートフォンや部活動紹介チラシを取り上げるなど高校生にとっても身近に感じやすい。そのほかユニバーサルデザインなど幅広く紹介している。映像メディア表現については，写真，アニメーション，映像作品がバランスよく取り上げられている。

② 巻末の「技法」では，制作過程や図などを示したり，用具・材料との関わりを紹介するなど高校生が表現を理解する際の手がかりを充実させている。また，「色彩」のトーン分類図のページは，本の外側に広げられるようにして，どの題材でも参照できる工夫がされている。鈴木其一の「夏秋溪流図屏風」は見開きワイド版で実際に折り曲げて机の上に立てることによって屏風絵を実感できるように工夫されている。さらに，その折り目を利用して裏ページでは尾形光琳の「紅白梅図屏風」も屏風として鑑賞することができる。

③ 全体的に高校生の生活実態に即した視点で教材が設定されており，その主題を主体的に追求することで，「美術Ⅰ」の学習の上に立ち，より深い内容が理解できるように工夫されている。また，巻末の「美術資料」も時代や文化など幅広い観点から理解できるようにまとめられていて使いやすい。

高等学校教科書採択理由書（書道Ⅰ）

1. 採択する教科書

発行者		教科書		教科書名 書Ⅰ
番号	略称	記号	番号	
38	光村	書Ⅰ	705	

2. 教科書を使用する学年および種目

高等学校	第1学年	種目 書道Ⅰ
------	------	-----------

3. 教科書採択の理由

- 教科書の最初に中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の違いやこれから学習する内容を知る導入部分があるため、生徒が見通しを持って学習に取り組める。
- 古典の臨書を行う上で、手本となる臨書部分を1ページに大きく掲載しており、特徴を捉えやすく、また半紙へ臨書する上でも大きさ・太さがどのくらいで臨書すればよいか理解しやすい。
- 古典の特徴や古典の概要・筆者の説明が簡潔かつ平明に書かれ、表記も空間を生かした配置のため、学習のポイントがわかりやすい。
- 「漢字仮名交じりの書」では心に響く言葉を書く教材があり、言葉を題材にすることで基本となる伝えたいイメージが決めやすく、生徒がめざす方向がはっきりとし主体的に取り組める。
- コラムには古典の真価がわかる押印の説明や、芥川龍之介や樋口一葉などの文学者の書や署名も鑑賞することができ、興味深い。
- 異なる書風の字や異なった構成の漢字仮名交じりの作品から好きなものを生徒自ら選ぶ・比べる・イメージを言葉にするなどの感性を能動的に働かせる内容もある。

芸術科 高等学校教科書採択理由書（書道Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者	教科書	教科書名（シリーズ） 書Ⅱ		
番号	略称	記号	番号	
	光村	書Ⅱ		

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	芸術科 書道Ⅱ
------	------	---------

3. 教科書選定理由

生徒が表現と鑑賞を相互に関連を図りながら書の美に親しみ、主体的に学習に取り組むことができる教材であるか検討を行った。

光村図書の学習教材は漢字の書23点、仮名の書8点と他社と大きく差はないが、時代や書風など多様な観点から精選された古典や多彩な特質をもつ古筆、名筆が精選されている。また図版が大きく掲載されていることで比較鑑賞しやすく、解説文も図版のそばに記載されていることで各教材の内容が理解しやすい。

「漢字の書」では、初めて重点的に学習する篆書・隸書・草書について、半紙臨書例や基本点画の運筆のポイントなどを示し、書体の特徴と用筆・技法の基礎がわかりやすく解説されている。

「仮名の書」では、表現技法、紙面構成、用具・用材の3つのテーマを設定し、段階的に学習できるよう教材化されている。

「漢字仮名交じりの書」は自らの感興や古典の書法をもとに字形や線質、用筆、用具・用材や紙面構成を工夫し、効果的な創作につながるよう配慮されている。

コラムでは、生徒になじみのある文学作品の直筆原稿を掲載するなど書の伝統と文化に対する理解を深めるとともに、他分野の学習にもつながる多角的な話題が提示されている。

「書の特色と歴史」は、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の古典や名筆を参照しつつ、書の特質と歴史的変遷を確認できるよう工夫されている。

表現と鑑賞を関連させながら学習を深め、書の美に親しむことができるように配慮された光村図書「書Ⅱ」を採択することにした。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅠ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	C I	712	

ELEMENT English Communication I

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	英語コミュニケーションⅠ
------	------	--------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

（1）ELEMENT（啓林館），（2）CROWN（三省堂），（3）New Rays（いっずな書店）

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、（1）ELEMENTを使用することに決定した。判断の根拠となったELEMENTの特徴の概略は以下のとおりである。

1. パッセージから言語活動への無理のない関係

各課の中心をなすパッセージを前後から挟む形で、語彙、リスニング、概要の把握、詳細の読み取り、パッセージの再生、自己表現の各活動がシステムティックに配置されており、英語力のさまざまな要素を、無理なく互いにつなげながら学習・練習できる。

2. パッセージの一覧性

読むべきパッセージが挿絵や資料写真などに分断されず、文章全体が一覧できるレイアウトになっている。読むときには読むことに集中でき、また、文章を全体として理解することが促される。

3. 長期的な指導計画

各課に設けられている問いが各課で独立したものではなく、複数の課にまたがって同じ種類の問いが繰り返されている。学力を長期的な計画で伸ばすには必要な配慮であり、年間を通じて使う教材として適切である。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅰ	707	

GENIUS English Logic and Expression Ⅰ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	論理・表現Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか，モデルとして提示されている英文の適切さ，および言語材料と言語活動の連関やバランスを考慮して，次の3つを，本校で用いるのに適当であると判断した。

（1）GENIUS（大修館），（2）NEW CROWN（三省堂），（3）APPLAUSE（開隆堂）

そのうえで，さらに構成や内容を精査し，総合的に判断した結果，（1）GENIUSを使用することに決定した。判断の根拠となった GENIUS の特徴の概略は以下のとおりである。

1. モデル英文から表現活動への丁寧な橋渡し

各課ともモデル英文が2つ掲載されており，生徒が自分で表現する際の手本が豊富である。また，モデル英文をもとに表現のフレームが分かりやすく示されており，モデル英文を参考にした自己表現を，段階的に無理なく導くことができる。

2. バランスの取れた言語材料の扱い

Put It into Focus では文法事項がコンパクトにまとめられている一方，各ページの下部に会話に有用な定型的表現が掲載されており，文法ベースの表現活動も，自由度の高いカジュアルな表現活動も，どちらも展開できるように誌面が工夫されている。

3. 授業場面での使い勝手の良さ

表現活動においては，生徒がメモを取ったり発表原稿を書いたりする欄が豊富に用意されており，ワークブック的な誌面になっている。教科書と辞書があれば活動ができる工夫であり，授業展開を物理的に支援するつくりである。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅡ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	CⅡ	712	

ELEMENT English Communication Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	英語コミュニケーションⅡ
------	------	--------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

（1）ELEMENT（啓林館），（2）CROWN（三省堂），（3）CREATIVE（第一学習社）

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、（1）ELEMENTを使用することに決定した。判断の根拠となったELEMENTの特徴の概略は以下のとおりである。

1. パッセージから言語活動への無理のない関係

各課の中心をなすパッセージを前後から挟む形で、語彙、リスニング、概要の把握、詳細の読み取り、パッセージの再生、自己表現の各活動がシステムティックに配置されており、英語力のさまざまな要素を、無理なく互いにつなげながら学習・練習できる。

2. パッセージの一覧性

読むべきパッセージが挿絵や資料写真などに分断されず、文章全体が一覧できるレイアウトになっている。読むときには読むことに集中でき、また、文章を全体として理解することが促される。

3. 長期的な指導計画

各課に Overview として passage review を完成させる問いが用意されている。英語コミュニケーションⅠに比して教材の分量が多くなったのに対し、長い文章でも、内容のまとまりを捉えて理解する姿勢を育てるのに役立つ。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅱ	707	

GENIUS English Logic and Expression Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	論理・表現Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材・活動や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

（1）GENIUS（大修館），（2）CROWN（三省堂），（3）EARTHRISSE（数研）

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、（1）GENIUSを使用することに決定した。判断の根拠となった GENIUS の特徴の概略は以下のとおりである。

1. 授業場面での使い勝手の良さ

モデルの検討からブレインストーミング、他の生徒との協働、そして発表へと、教科書と辞書があれば活動ができるワークブック的な誌面になっており、授業で扱いやすい構成である。

2. 使用を意識した言語材料の扱い

For Your Use では、言語活動で使用することを想定した用例で文法や構文が提示されており、言語材料の学習が言語活動に有機的に結び付くように配慮されている。

3. 有益なコラム

Improve Your Speaking/Writing Skill! では、話すこと・書くことの学習や各技能の理論的な面についてわかりやすく解説されており、生徒が学習においてメタ認知を働かせる手助けとなる。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅢ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ） Revised ELEMENT English Communication Ⅲ
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	CⅢ	710	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	英語コミュニケーションⅢ
------	------	--------------

3. 教科書選定理由

扱われている題材や英文難易度の適切性，教科教育研究・授業や教育実習に向けて，教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（第一学習者 CREATIVE, 啓林館 ELEMENT, 三省堂 CROWN）に絞り，その中から ELEMENT に決定した。

1. 題材・英文の適切さ

題材は多岐にわたっており，自然科学・人文科学・社会科学に対する視野を広げ，洞察を深めることができる。また，全体を4つの Unit で構成し，説明文，エッセイ，物語など異なるテキストタイプの英文を扱っているため，さまざまな読み方を想定した展開が可能である。英文のレベルについても，段階に応じた適切な難易度で書かれており，無理なく進んでいくことができる。本課の数も適切であり，課末に進出語句について英語での定義も掲載されている。また，教養的な気付きを促すことのできる題材が使われており，様々な解釈を促すことができる。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

全ての課が見開き 1～2 ページに統一されており，英文に集中して読み進めることができるように構成されている。また，1つの課の中での Part 分けが行われていないため，1時間内で扱う分量を指導者の裁量で決めやすい。文章の情報構造の特徴などについても，筆者の主張及びそれを支える根拠が明確な，基本的な英語のものを用いているものに加えて，修辭的，文学的な表現技法を盛り込んだ，特殊なものも扱われており，多様な指導に用いることが出来る。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

課の中心となる本文に加えて，Listening や Speaking, Writing に関わる活動が設定されており，5 領域を統合的に用いるための工夫がなされている。また，Retelling という活動を最終活動に行うことを前提としたデザインになっているため，教育実習においてバックワードデザインによる授業構成を指導しやすい構成となっている。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅲ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅲ	705	

Genius Logic and Expression Ⅲ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	論理・表現Ⅲ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

扱われている英語の適切性，教科教育研究・授業や教育実習に向けて，教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（大修館 **Genius**，三省堂 **CROWN**，啓林館 **Vision Quest**）に絞り，その中から **Genius** に決定した。

1. 扱われている英語の適切さ

個別の英語表現の正確さといったミクロな視点よりも，文章構成や情報の順序，事実と意見に区別といったマクロな視点からの英語の正しさに焦点を当てている活動が設定されており，高校Ⅲ年生という発達段階（一定の語彙数を持ち，文法についても学習を終えている）に適した内容となっている。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと，話すこと[やり取り]，話すこと[発表]）の育成を中心に据えた課がバランスよく並べられており，また，それぞれの課に聞くこと，読むことに関わるタスクが用いられているため，領域を統合した指導や教科教育研究が行いやすい構成になっている。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

教科書の冒頭に論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと，話すこと[やり取り]，話すこと[発表]）での学習目標が掲載されており，カリキュラムマネジメントの視点を持ちながら，指導計画を考えやすい構成になっている。

また書くことに関わる活動では，指導の手順が明示されており，書くことの指導計画を立案しやすい構成になっている。

高等学校 教科書選定理由（家庭基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	家基	710	
				高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	家庭基礎
------	------	------

3. 教科書選定理由

候補にあがった他の教科書（大修館書店，実教出版）と比較・検討し，以下の点において適当と判断し，本教科書に採択する。

1. SDGs 達成の視点を重点的に取り扱われコンセプトが明確な教科書

学習指導要領に示された内容が偏りなく扱われ，持続可能な社会の構築がクローズアップされており，教科書全体をとおして取り扱うテーマとなっている。随所に SDGs マークが付いており，家庭科の学びと SDGs を関連づけて考えることができる。

2. 生徒の学習意欲を高め，学習内容の理解を深める工夫

1つのテーマ見開き2ページ構成で，課題意識をもって学習できる構成であり，巻末には食品成分表や暮らしとのかかわる法律，減災・防災ハンドブックの記載があることで，学習内容の理解に効果的である。

また，主体的に取り組むことができる学びあい・話し合いのテーマとして，随所に「TRY」が設けられており，主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。さらには，学習を通じて学びを深め，考え，行動につなげていく課題解決型の学習態度を身につけることができる「深めよう・活かそう」が設定されており，本校の生徒の実態に適している。

3. 教科書の機能を高める細かな仕掛け

本文の説明が具体化・可視化できるよう紙面が有効に活用されており，二次元コードから関連するサイトや動画に簡単にアクセスできることで，学習への関心を高めるとともに幅広い知識・技能が習得できる。

調理実習は家庭生活に役立つ題材が，授業時間に適した分量で取り上げられ，イラストと説明文との一体化した形で展開されているため，理解を促すことができる。

高等学校 教科書選定理由（情報科）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ） 高校情報 I Python
番号	略称	記号	番号	
7	実教	情報 I	703	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 2 学年	情報科
------	--------	-----

3. 教科書選定理由

新学習指導要領において、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実させることになった。

高等学校では、全ての生徒が必ず履修する科目(共通必履修科目)「情報 I」が新設され、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学ぶ。これからの社会を生きるために必要な情報活用能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びを実現できることを重視している。「情報 I」の学習は「問題の発見・解決を行う学習活動」がベースにある。

採択の候補となる 6 社の教科書について検討したが、いずれも生徒の興味・関心を喚起するとともに主体的に学ぼうとする学習活動を工夫して取り入れられていた。

本校の教育目標や生徒実態に照らして検討し、次の理由から総合的に判断した結果、本書を採択する。実教出版の「高校情報 I Python」を選んだ理由は大きく次の 3 点である。

1. 生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を向上させる工夫がある

生徒が読んで理解できる平易な表現と無理なく知識・技能を習得できるよう工夫されていることから、生徒の興味・関心を喚起し、主体的・対話的で深い学びにつながる。

2. 生徒の探究心に応える豊富な実習題材がある

最新の情報通信技術が扱われており、社会でどのように役立てられるのか、そのつながりを理解することができる。また、Python を扱った豊富な実習題材と資料により基礎技能習得、プログラム構造の理解がサポートされるよう配慮されている。

3. 情報モラルの充実

学習活動を通して、情報社会を生きていくための基本的なルールやマナーの在り方を考えることができるよう工夫されている。